



目次

- P1.....センター祭を開催しました
- P2・3.....センター紹介② 外来診療のご案内
【児童精神科】【整形外科】
- P4.....センター食の取り組み
～診療科栄養担当より～

カラフルとは、個性豊かな子ども達がその子らしく過ごしていくことや、時には他の色と混って新しい色をつくりあげていくことを表現しました。

センター祭を開催しました

強風にまけないぞ！ 子どもと職員の団結パワーでセンター祭大成功

平成30年10月20日土曜日、センター祭が開催されました。大里の地に移転後、2回目のセンター祭となりますが、児童精神（あすなろ）部門・小児整形（草の実）部門・難聴児支援部門の3部門による合同開催は、今回が初めてとなりました。

この日のために9月から、入院児と病棟職員は、療育活動の時間や放課後、休日を使って毎日こつこつと、太鼓やよさこい、病棟出し物、作品づくりなどの練習・準備に取り組んできました。よさこいで身体を思うように動かせなかったり、劇の練習中にケンカになることもありましたが、発表目指してみんなで乗り越えてきました。また、外来職員も、飲食店やあそびコーナー、展示体験コーナー、フリマなどの準備を担当し、センター全体で協力しながら進めてきました。

そして迎えた当日。強風には見舞われたものの、それを押し返すような草の実病棟・あすなろ病棟の子どもたちと全職員のパワーで、日頃の活動の成果を皆さまに披露することができました。初めての全入院児共同作品「みんなの空」も完成し、子どもたちの誇らしげな笑顔が印象的でした。また、終了後のアンケートでは、ご家族や関係者の皆さまから、「太鼓が力強く迫力があった」「よさこいは子どもと職員が一緒になって頑張っていた」「出し物は一生懸命練習した感じがした」「1年に1回安心して子どもを連れてこられるお祭りができた」といった感想をたくさんいただき、大変励みとなりました。

初めての3部門合同開催で、皆さまにご不便をおかけすることも多々あったかと思えます。今後も、子どもたちがより主体的に取り組み、ご家族や関係者の皆さまにもより楽しんでいただけるようなセンター祭を目指して、改善や工夫を重ねていきたいと思えます。来年度も、皆さまとお会いできることを楽しみにしております。





児童精神科

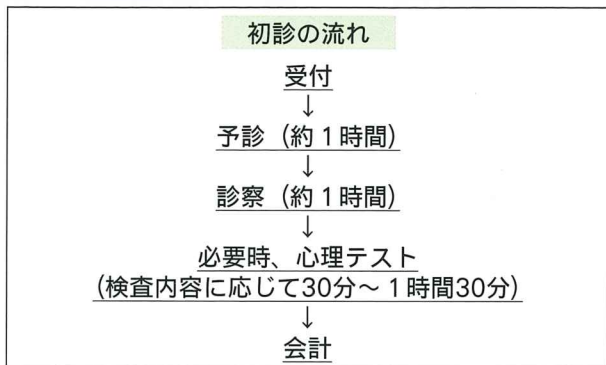
学校または家庭で、問題や悩みを抱えるお子さんたちを幅広くお受けしています。年齢は、義務教育年齢を中心におおむね18歳までです。

診療について

診察は、**完全予約制**になっております。

初診専用ダイヤル：059-253-2020

再診予約ダイヤル：059-253-2000 (代表)



*予診とは、医師の診察をスムーズにするために、診察前に行います。受診するきっかけになった子どもの問題や悩み、これまでの育ちの経過や現在の様子などについて、1時間程度かけてお聞かせいただきます。大切な情報を医師の診察へとつなげていきます。

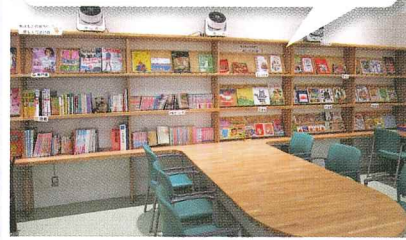
*心理テストとは、子どものこころの発達等についてアセスメントするものです。臨床検査とは、脳波や血液等、身体状態を把握するものです。いずれも必要に応じて行われます。

*診察により継続通院、療育、デイケア、心理療法、リハビリ、入院など、今後の治療方法を医師と子ども本人と家族で相談して決めます。

待合の様子



◎本のコーナー◎
使用後の本はリサイクルしています



季節に応じた壁紙



地域の方からいただいた切り絵を飾っています



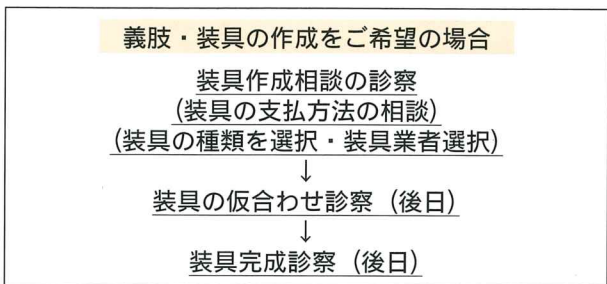
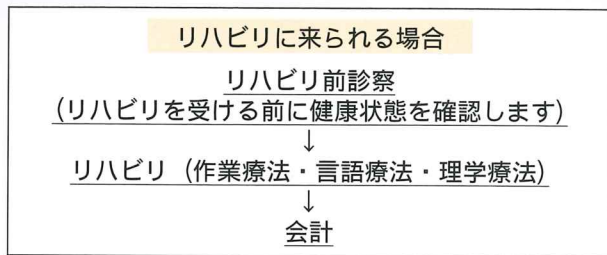
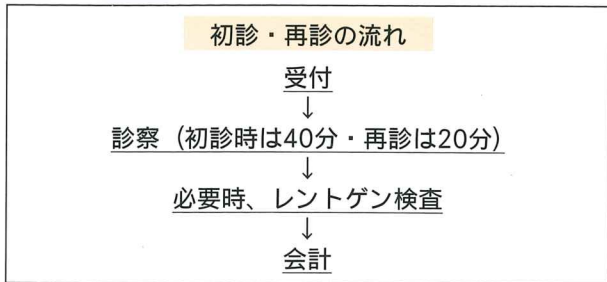


整形外科

小児整形及び小児リハビリテーションを中心に、機能訓練・装具療法などを実施しています。運動発達に遅れのあるお子さんや運動器（筋・骨・関節・脊椎など）に障害のあるお子さんが対象になります。

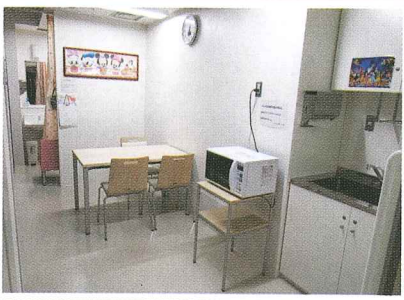
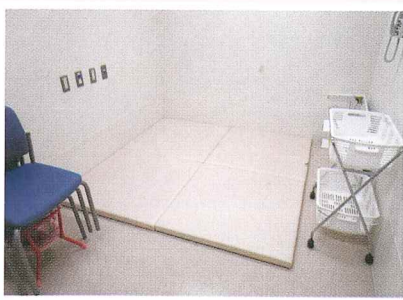
診療について

診察は、**完全予約制**になっていますので、初めてのときは予約の電話を入れてからお出かけください。
初診・再診予約ダイヤル：059-253-2000（代表）

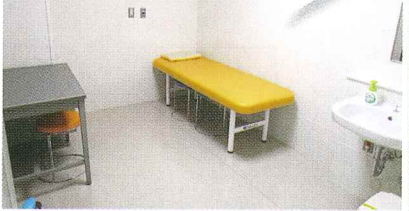


- * 診察により継続通院、リハビリ、義肢装具の作成、入院など、今後の治療方法を医師と子ども本人と家族で相談して決めます。
- * 義肢・装具関係の診察は、月・水・木曜日の10時からとなります。
- * 機能訓練（リハビリ）も予約制ですが、それぞれ担当訓練士とご相談ください。

休憩室

◎ 患児待機室 ◎
 体調の悪い時に休んでいただくお部屋です



診察室

整形外科 西村医師



児童精神科 大立医師



待合の様子



気になること、お悩み等ございましたら、外来看護師に何でもお尋ねください。

センター“食”の取り組み

～ 診療科栄養担当より ～

センターでは、最新の調理機器のそろった厨房で栄養バランスが良く、美味しい食事を作っています。ひとり一人にあった食形態への再調理やアレルギーに留意して安心・安全な食事を提供します。

ある日の・あさごはん



ひるごはん



おやつ



ゆうごはん



今年度から、「発達期摂食嚥下障害児（者）のための嚥下調整食分類2018」による、まとまりペースト（センター名称 まとまりミキサー食）を導入しました。センター内試食会では、職員に食形態の特徴を説明し、試食することでより理解を深めることができました。

普通食



ハンバーグ・かぼちゃ煮物
ごはん・オレンジ・味噌汁



ミキサー食

嚥下調整食コード2-1
均質。すくって傾げると
ゆっくり落ちる。

まとまりミキサー食

嚥下調整食コード2-1
均質。すくって傾けても容
易に落ちない。
スプーンで押した形に変形
し、混ぜるとなめらかな
ペーストになる。

舌つぶし食

嚥下調整食コード3
均質。ムース状。すくって
傾げるとゆっくり落ちる。
スプーンで切り分けてもま
とまっている。

センター祭と同時開催された“摂食委員会主催の食のふれあいデー”では、来場者の方に嚥下調整食の調理実演を見ていただくとともに、食に関する情報提供を栄養士や言語聴覚士等と連携して行いました。



広報委員より

たくさんの写真を織り交ぜ発行しました。ホームページには1号もあわせて掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

広報委員（高木・野田・中村清・田上）

三重県立子ども心身発達医療センター

〒514-0125 三重県津市大里窪田町340番5

電話 059-253-2000(代)

FAX 059-253-2031

URL <http://www.pref.mie.lg.jp/CHILDC/>

